

第4号 (2011 新春号)



美浜町議会だより

発行：美浜町議会 編集：議会広報特別委員会

〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25 TEL (0770) 32-6711



勇猛壮烈…日向水中綱引き

目次

十二月定例会

議長あいさつ
…………… 2面～4面

平成22年度補正予算

(常任委員会質疑内容)

十一月臨時会

原子力発電所特別委員会報告

一般質問

倉田 愛子議員
…………… 5面～8面

浜野 健治議員

松坂 隆司議員

宮下 紀興議員

兵庫 賢一議員

トピックス

…………… 9面

美浜・三方環境衛生組合議会

敦賀美方消防組合議会

議会の動き

…………… 10面

産業厚生常任委員会視察報告

編集後記

新年のご挨拶



議長 北村 晋

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族おそろいで迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に対しましてあたたかいご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

昨年11月関西電力(株)美浜発電所1号機が40年を迎え、最長10年の継続運転を了承するはこびとなりました。また、後継機設置の可能性について検討するため、地元理解を得ながら自主調査がはじまり、この秋以降に事業者から構想が示されるものと思います。

そうしたなかで、来年7月には美浜発電所2号機が40年を迎えます。議会として国や事業者に更なる安全対策の強化を求めてまいります。

「地域主権改革」も具体的な動きを見せはじめ、多様化する住民ニーズに対応するための地域や行政のあり方が問

われています。

そのためにも、今、町議会は変らねばならないと考えます。議会の活性化と強化への取り組みが、喫緊の課題であります。

本町議会といたしましては、真に町民の皆様が開かれた議会を目指すため、去る12月定例議会におきまして、議員総意のもと「議会活性化特別委員会」を設置することを決定し、議会のあり方や活性化方策に関する調査など行っていくことになりました。

私たち議員は、その責務の重大さを再認識するとともに、議員相互で活発な議論をするだけでなく、町民の皆様と対話し、知恵を絞り、汗を流しながら責任ある議会活動を全うする所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成22年第8回 12月 定例議会報告

平成22年第8回美浜町議会定例会は、12月10日から21日まで12日間の会期で開かれました。一般会計補正予算など10議案各常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり可決しました。また、追加された2議案についても原案どおり可決しました。議員発委による意見書を上程し原案可決しました。

- 議案第61号 平成22年度美浜町一般会計補正予算（第3号）
- 議案第62号 平成22年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第63号 平成22年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第64号 平成22年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第65号 平成22年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第66号 平成22年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第67号 平成22年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第68号 平成22年度美浜町上水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第69号 美浜南小学校体育館整備基金条例の制定について
- 議案第70号 公立小浜病院組合理約の変更について
- 議案第71号 美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第72号 美浜町中央公民館解体工事請負契約について
- 発委第9号 TPP交渉参加に関する意見書の提出について

平成22年第8回 12月 定例議会報告

平成22年度一般会計12月補正予算の主な内容

補正予算額 5億4041万9千円

総額80億4816万5千円

	予算額	主要事項	金額	備考
民生費	2,499	心身障害者(児)医療無料化対策事業	6,375	助成対象者数、障害程度等の変更による医療費助成の増額
		施設入所支援事業	4,182	障害程度、入所期間等の変更による増額
衛生費	△956	感染予防事業	4,004	新型インフルエンザ、子宮頸がん、肺炎球菌、ヒブの各ワクチン接種費の助成
農林水産業費	150,038	明日の地域農業を支える担い手条件整備事業	5,276	JAが認定農業者へ農業機械をリースするための機械購入費補助
		中山間直接支払事業	12,816	中山間地域の耕作放棄を防止するために、協定を締結した集落等へ直接支払交付金を交付
		中山間地域総合整備事業(有害獣)	100,900	有害獣侵入防止用恒久柵の設置(新庄地区)
		中山間地域総合整備事業(水路)	11,000	農業用排水路の追加工事(山上地区)220m追加
		県事業負担金	15,000	県営かんがい排水(美浜中央)事業の追加工事負担金 140m追加
教育費	401,259	美浜南小学校体育館改築事業	400,000	平成23年度完成に向けての基金造成
(人件費)		職員人件費(議員分を含む)	△26,238	

総務文教 常任委員会(抜粋)

議案第61号 平成22年度一般会計補正予算

総務費

質疑 職員の人件費について、議員分含み2,600万円削減。職員の職務に対する意欲が低下しないよう、説明が行き渡っているのか。

回答 人事院勧告や地方公務員法に基づいた減額なのでやむを得ない。また、条例に基づくものであり、一般職員は理解している。

民生費

質疑 子供の伸びる力育成事業とはなにか。

回答 県が基金事業として積み立てたもので、支援センターや保育園で、研修や備品の購入にも使えるものである。

衛生費

質疑 ワクチン接種の状況を説明頂きたい。

回答 「新型インフルエンザ」に「生活保護者・非課税者」に対するもので、対象者1368人(10月現在)、接種率は63%

である。本年は季節性を含め3種の混合ワクチン。「子宮頸がんワクチン」は対象年齢中学1年から3年の女子、国の方針は3回接種だが、本年度中には無理なので、2回接種。対象者143人。「小児用肺炎球菌ワクチン」と「ヒブワクチン」は生後2ヶ月から4歳までの間。対象者291人。両ワクチンは自己負担1割という計算で考えている。

質疑 接種して持続効果は有るのか。

回答 子宮頸がんワクチンの持続効果期間は5年から10年といわれており、1回あたり1万6千円。これについては、国から45%補助がある。美浜町では残り55%全額を持ち、自己負担の無いようにしたい。

質疑 接種して持続効果は有るのか。

回答 子宮頸がんワクチンの持続効果期間は5年から10年といわれており、1回あたり1万6千円。これについては、国から45%補助がある。美浜町では残り55%全額を持ち、自己負担の無いようにしたい。

農林水産費

質疑 新庄で9.7kmを1業者では請負えないと思うが、現在測量中である。設計を待つて発注予定。一括発注よりは分割のほうが良いと考えている。

回答 現在測量中である。設計を待つて発注予定。一括発注よりは分割のほうが良いと考えている。

商工費

質疑 職員の人件費について、増える理由は。

回答 産業活性化対策費と観光総務費の関連で、当初観光総務費で見込んでいた職員を一名交流推進室に配置替えして増強を図った。

土木費

質疑 中央公民館前の県道の整備はいつごろ着工するのか。

回答 来年度以降になる。

教育費

質疑 小学校の再編計画が出ている中で、南小学校の体育館の改修を行うということは、地域のスポーツ振興という意味で理解すれば良いか。

回答 学校再編は念頭に無いわけではないが、社会体育の振興を加味してやや大きいものを計画している。

議案第69号 美浜南小学校体育館整備基金条例の制定について

質疑 条例の第3条について、市中銀行なのか。自治体も利息を受け取れるのか。

回答 基金は町内の金融機関を予定して1年間の定期預金とする。利子も若干あるので、あわせて事業に充てたい。

平成22年第8回 12月 定例議会報告

産業厚生 常任委員会(抜粋)

議案第62号 平成22年度美浜町診療所事業特別会計補正予算

質疑 丹生の医師が産休ということ
で、県から医師の派遣を受ける
そうだが、いつ復帰されるのか。

回答 佐川医師の1月からの産休
に伴い、現在県立救急救命セ
ンターで勤務している30歳の男性
医師の派遣を受けることになった。
美浜町職員として任期付で採用と
いう形になる。

議案第64号 平成22年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算

質疑 歳入の保険料で前年度分、こ
れは未収入の分なのか。

回答 全体事業金額の減による町負
担分(実質1/4)の減である。

議案第67号 平成22年度美浜町公共
下水道事業特別会計補正予算

質疑 歳入の公共下水の受益者負担
について、本管が通った時点
で受益者負担があるが、本来払
わねばならないのに払っていない
場合も会計上未収金として上げな
くても良いのか。

回答 現在マスをつけてある場合は
受益者負担をいただいている
が、設置していないところはも
らっていない。

全員協議会

12月17日に全員協議会が開催され、
今後の事業計画の説明を受けまし
た。

◎第4期介護保険事業計画におけ
る、地域密着型サービス施設の整
備について。

◎多目的屋内運動場整備事業(屋
内ゲートボール場)

◎土地改良施設(雲谷頭首工、パイ
プライン)の改修について

特別委員会報告(抜粋)

●原子力発電所特別委員会

平成22年11月22日開催し、「関西
電力株式会社美浜発電所の概況等
について」と「日本原子力研究開発
機構、もんじゅの概況等について」
の説明を求めました。

美浜発電所関係

質疑 美浜発電所1号機について40
年を越えての運転継続が決
まったが、後継機を建設するとして
も、今後、10年も15年もかかるとい
われているが、1号機運転停止から
後継機運転開始までスムーズに切
り替わっていくのか。

回答 後継機については設置可能性
の検討を進めるため、地形・地
質調査などを実施することとして

平成22年第7回 臨時議会報告

平成22年第7回臨時議会は、11月26
日10時から美浜町議会議場で開催され
ました。審議された内容は次のとおり
です。討議後原案どおり可決しました。

- 議案第60号 美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- ①美浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ②美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正
- ③美浜町一般職の任期付職員
- ④美浜町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正及び美浜町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
- ⑤その他

もんじゅ関係

おり、その結果を踏まえてできるだけ
け早く構想をとりまとめていきたく
いと考えています。後継機を設置
させていただくことになっても建
設に10年から15年程度かかり、谷間
はできるかもしれない。しかし、そ
の間廃炉に向けた作業や、建設準備
工事等もありそれほどへこむこと
は無いと考えている。

質疑 炉内中継装置を燃料出入孔ス
リーブと一体で引抜くという
が、発火や安全性の観点から大丈夫
なのか。

回答 ナトリウムが付着した配管の
撤去などの場合、プラバックと
いうビニールで全体を覆い、空気が

質疑

入らない状態を作って切斷などを
行うという作業経験がある。大変
困難な作業と認識しているので、他
のメーカーや常陽の経験者などの
応援をいただきながら作業を進め
て行きたいと考えている。

回答 本日に原子炉内にダメージは
ないと判断してよいのか。

落下原因の追究ばかりで、マ
スコミに対し原子炉容器内の
どこに落下したのかという説明を
怠ったと反省している。炉内中継
装置は、落下の衝撃で一部損傷があ
るものの所定の位置にあり、原子炉
容器内の設備は大丈夫と考えてい
る。炉内中継装置を抜いた後、詳し
いチェックをした上で判断する。

一般質問

12月定例議会では5人の議員が一般質問に立ち、町当局と活発な議論を展開しました。その要旨をご紹介します。



倉田愛子 議員

質問①

町内小学校の統廃合計画と生涯学習センター建設に伴う町営施設の利用計画について

町内7つの小学校について学級数及び児童数が大幅に減少している。今後の統廃合の計画と、保育所の統合や生涯学習センターの建築、せせらぎ保育園の改築等々、町の諸施設の今後の利用計画は。

回答・町長

小学校の統合は再編検討委員会で検討。空き施設は目的に沿った活用を図っていく。

少子化については地域の衰退、大きくは国力の減退と言う事で憂えております。15年前から5年ごとに149人、147人、107人と減少し、今後5年間は20人減少と推定されており下げ止まりの傾向は見えておりますが学校教育の充実の為、小学校の統廃合は必要で、23年度から小学校の再編検討委員会を立ち上げ検討に入ります。空いてくる施設ですが保育所では早瀬は老朽化で取り壊し、日向、新庄、菅浜については改装し地域の福祉やコミュニティ

テラー施設として活用する計画です。更にせせらぎ保育園と図書館は耐震化等の検査を行い公共施設としての利活用を今後検討いたします。町誌編纂室は編纂の為に集まった多くの資料や、興道寺廃寺の発掘品など文化財保護業務の拠点として活用の予定です。

回答・教育長

この15年間の小学校児童の減少率は菅浜小で73.6%、丹生小で68.2%、北小で49.5%となっており、丹生、菅浜小では完全複式授業、新庄小でも23年度から完全複式になります。北小でも1学級複式となります。この様に児童減少は顕著で23年度、小学校再編検討委員会を設置して通学方法等を検討し、複式授業の解消を目指して計画を提示して参ります。

質問②

温泉用地として取得した土地の活用計画は

平成15年、温泉施設として取得した土地の内、若狭医療福祉専門学校に提供した以外の土地が空いているが、今後の土地の活用計画は。

回答・町長

温泉を活用した産業活性化機能と合わせ、町民の健康増進を図るために今後も検討。

平成10年当時、産業活性化施設の一つとして温泉施設を希望する声があり、平成13年度に掘削を実施、温泉を掘り当てました。

湧出量は毎分32リットルで少なく、温度は34℃でした。それでも温泉を活用して産業活性化拠点整備しようと用地を平成15年度に23,500㎡を取得いたしました。温泉を核とした施設整備には課題が多く、最終的に健康増進、医療費軽減を期する施設整備が提案され、平成18年1月に健康づくりに関する専門学校の誘致を検討し、若狭医療福祉専門学校を誘致いたしました。これは計画の一端としても、更に温泉入浴と健康増進を図る施設を整備するとすると多大な資金が必要で、町としては保育園の統合、小中学校の耐震化対応や、生涯学習センター等、優先すべき課題を実施しているところであり、健康増進施設としては必要と考えておりますので十分検討して参ります。

質問③

国吉城址史跡公園整備の今後について

立派な資料館が建設されたが、単に見学入館者だけでなく、体験や学校教育に活用して周辺一帯の整備が必要ではないかと考えるが、将来の展望は。

回答・町長

史跡公園をめざし計画に沿った整備を継続

資料館は21年4月開館以来、県外者を含め多く入館を頂いており、歴史資料や調査の成果を見て頂いております。更に歴史教育や公民館講座に使用し、はあとふる体験の国吉城址現地見学、発掘体験に活用しております。今後の整備については平成14年3月策定の国吉城址及び周辺地区史跡公園整備基本計画を柱に平成15年策定の国吉城址史跡公園等環境整備計画に基



浜野健治 議員

質問①

美浜町の公営企業会計（上水道、簡易水道、集落排水、公共下水道事業）の課題と、今後の計画について

公営企業会計それぞれに多額の設備投資費用が掛かっており、町債、企業債の未償還元金が残っている。これら事業には今後、老朽化等含む管理費に相当費用が高んでくる事が予測されるがどのような採算計画が事業会計ごとに説明をお聞きしたい。

回答・町長

町民共通の大切な事業なので交付金、補助事業の活用と合わせ、健全経営化対策に努力

上水道事業は昭和50年より供用開始をしました。現在までの総事業費は37.3億円で補助金、負担金の21.9億円、起債の15.4億円で事業が完了しました。現在の給水戸数は2,900戸、給水人口は7,300人です。経営的には給水人口の微減、節水意識の向上で使用料等の総収益に対して総費用が下回っており、資金剰余が生じております。施設について進めております。その一環として近々、歴史資料館への誘導看板や外溝整備を考えております。

質問

は老朽化した水道管理所を平成20、21年度で電気設備、機械設備を含め一括更新をしました。平成10年以來の送・排水管の更新は耐震管となっており、約40%は完了しております。今後導水管、送・排水管の更新は耐震管が必須となります。初期の元金償還に加え平成25年度からこれら管理所等の更新費用の償還が加算されるので更なる経費削減が必要と考えております。

次に、簡易水道事業ですが昭和31年度、日向地区から供用開始されました。現在起債借入残高が2.6億円となっております。

簡易水道は新庄、丹生等6集落6施設と飲料水供給をしている新庄の松屋、奥等4地区が有りまして給水戸数は1,100戸、給水人口3,000人となっております。経営的には給水人口の減少、節水意識向上等により給水人口は増えない状況ですが健全です。雲谷、新庄を除く施設の老朽化は進んでいて更に、渓流水を利用して丹生、竹波、菅浜は水量、水質に不安があります。又、送・排水管の漏水も発生しております。丹生、竹波については膜ろ過処理による水質安定化も図っていきま

す。総量が少ないため、今後の維持管理費用を賄うべき更なる経営基盤の強化策が必要と考えます。

次に、集落排水事業ですが昭和57年度和田地区を皮切りに昨年度完了した新庄地区まで28年間で総事業費56.6億円を補助金及び負担金の45億円と起債で11.6億円

で事業を実施してきました。処理場は11地区、管路工事は12地区で行いました。平成18年度から管理一元化を進め、昨年10月に完了しました。今後は町の施設として管理を実施して参ります。今後公共下水道と接続可能な地区は接続をしていきたいと考

えております。管理一元化が出来ましたので経営基盤の強化を図っていく予定です。

最後の公共下水道ですが、平成元年から着工し総事業費142.6億円を補助金及び負担金の72.3億円、起債70.3億円

で実施しました。処理場の池は2つで一つ目は平成7年、二つ目は平成14年度に完成、処理能力はそれぞれ2,000立米、計4,000立米の能力を持っています。現在日最大流入量は2,900立米なので設備余裕はまだあります。今年度からの新庄地区の処理及び、集落排水の接続で設備能力を見ながら3池の増設の検討が必要となります。起債の現在残高は52.5億円

で償還のピークは過ぎているものの今後毎年3.8億円の償還が必要で、町財政に負担をかけることとなります。今後維持管理費節減の為、包括管理委託を検討し、事業経営基盤の強化を図っていきます。普及率は77.3%です。未加入者への啓蒙も続けていきます。すべての事業の工事が完了しましたが、長い期間でしたので供用年数に集落間格差があります。今後東地区の水道水の安定化や設備の資質向上、老朽化更新や耐震化更新を含めた維持管理方法と経営基盤強化策を施して参りたいと考えております。

公営企業トータルの起債償還については平成16年度当初に115億円ありましたが、平成21年度残高が90.4億円、平成26年度には64.8億円と予測しております。1年間の償還額は平均5億円となり、平成26年度から5億円以下になります。

水道、集排、下水事業は町民にとって必要な事業でございますので今後も交付金、補助事業の活用と合わせて、一般財源の投入と合わせ健全化に努力して参りたいと考えています。



松坂隆司 議員

質問①

コミュニティバスについて、美浜町の地理学的見地から地域交通体系を住民の足という観点から問う

コミュニティバスの機能は様々な側面があり、交通弱者や高齢者の足の確保という面と事業性・収益性の面から難しいものであると考える。現状、バス路線の維持に一定の役割を果たしているものの、経路・ダイヤ設定のインセンティブを持たずに、現行路線の見直しなき延命をしている状況ではないかと思う。これらの目的に沿ったものになっているかの検証も必要ではないか。ハブ・アンド・スポークシステムやオンデマンド方式等の戦略も考えられるが、そういった意味で

- ① 従来の民間路線バスから移行した経緯と利用者の満足度
 - ② 金銭的負担と課題、将来の方向性
 - ③ 現行ダイヤと運行形態の課題、新たな運行方法模索
 - ④ 交通弱者の立場で考える地域交通体系
 - ⑤ 2次交通手段として観光タクシー・コミュニティバスを含めた観光戦略
- 以上を包括した考えをお聞きたい。

回答・町長

美浜町地域公共交通会議でこれからも利便性の高い交通形態を検討

して行く

この課題は本町に限らず、各地方で重要な課題になっております。特に丹生、日向、新庄各方面等、地理的に広範囲な面を持っております。少子高齢化に伴う利用者の減少は、バス会社の経済的理由で路線の廃止を申し出て、継続には自治体の補助金等の支援が必要となりました。通学生や高齢者の足の確保の為にやむを得ない事があります。一方、住民アンケートの住みにくい理由の一つに交通が不便だからという声もあります。当町においては交通の利便性についてはマイナス評価と言う事になっておりました。社会経済活動の基盤である公共交通の維持・確保、及び利便性向上は町づくりの為に重要であると考えております。平成19年、コミュニティバスをはじめとする地域交通について協議する機関「美浜町地域公共交通会議」を設置して各代表から意見を聞き進めております。コミュニティバスは平成17年、レイクヒルズ美方病院と丹生方面を結ぶブルースカイ号、平成18年、同じく日向方面を結ぶゆうなぎ号、新庄方面を結ぶやまびこ号を運行しております。ダイヤ編成については2次交通として、JR小浜線、路線バス、コミュニティバス、美方高校の始業終業時間、レイクヒルズ美方病院の利便性を考慮しながら定めております。議員提案のハブ・アンド・スポークシステムの考えも地域公共交通会議の中で検討されておりますが、課題も多しと聞いております。利用状況は年々緩やかに増加をしております。経費は年間3,070万円で補助金で825万円、利用者負担が480万円、残りの1,765万円は一般財源で、国の特別交付税はこの1,765万円に含まれております。もっと便利な方法、たとえば

停車場以外でも手を上げれば乗れるとか、そういったことも地域公共交通会議の中で検討して頂いております。斬新なアイデアの提案をお願いしたいと思っております。

回答・住民安全課長

美浜町地域公共交通会議には地元の代表、J・Rやバスの事業者、美方高校の職員の方にも入っていただいて検討しております。美方高校に朝、親御さんに送っていただく生徒は、雨の日や寒い日に多く自転車通学がしにくい時と考えます。それで帰りはコミュニティバスを利用してもらえる聞いております。



宮下紀興 議員

質問・①

平成21年度の決算は承認されていますが借入金の現在高は、又、借入金の借り換えが有利に行われているのか

平成21年度決算は9月定例会で承認されているものの、町民から町の借金はいくらあるのかという疑問の声が聞かれる。一度はつきりすると共に、その借入金の金利を適性に判断して有利な借り換えが必要と考えるが。

回答・町長

財政の健全性を十分意識しながら、上手な運用をしていきたい。

地方債、これは借金ですけれども財源の補填の機能に加えて収益的な投資や長期間使用する施設整備等に関わる費用を世代間を超えて公平的に負担するという考え方で使用します。毎年度末に、実質公債費率、公債費残高に留意しながら活用しております。過去の大きなものとして土地改良事業の補助金、漁港の改修事業、営住宅、災害復旧対策事業等ありました。平成21年度末の残高は一般会計の42.9億円のうち、町の責任部分が21.7億円、国の責任部分が21.2億円となっています。公営企業会計（上水、簡水、集排水、公共下水）合計で70.6億円、これも返済のピークは越えております。環境衛生組合会計の20.8億円、これは使用量等を考慮して若狭町45%、美浜町55%の分担です。レイクヒルズ美方病院に17.5億円、これもおよそ若狭町55%、美浜町45%の分担です。後消防組合、診療所特別会計がありますが少額です。申し上げた内容のいずれも計画通り返済し、減少しておりますので町民の皆様には順調に借金を活かしながら必要な施設の整備、事業をしていると言う事をお伝えください。その他総合体育館や美浜中学校のプール、給食センター、あおなみ保育園、国吉讓資料館及びレークセンター買取は原電3法交付金を活用し地方債、借金なしに実施しました。今後予定しているせせらぎ保育園、みずうみ保育園、生涯学習センター、南小学校体育館、エネルギー環境体験施設等も議会も一緒にあって資金確保に御協力いただいで地方債を使用せずにやっていく

回答・総務課長

まず平成19年度から24年度までの6年間に限り財政力指数や公債費比率などが国の定めた基準を満たしていることを条件に後年度の支払利子分が免除されるという繰上償還制度が出来ております。美浜町でも5%以上の利率の公的資金につきまして特別会計を含み3.2億円の借り換えや繰上償還を致しております。更に22年度から24年度には1.9億円ほどの借り換えを計画しております。この借り換えに伴い、全会計で1.4億円ほどの利子支払いの軽減がなされる予定ですが、5%未満の借入金を繰上償還するのは得策とは言えない部分もあるので財政負担の軽減等、総合的に考え慎重な運営に心掛けます。

質問・②

美浜発電所の後継機の検討に入っているが、実現が決定したときの地域振興策は雇用を含めて考えているのか

美浜発電所1号機の後継機と共に関、その後継機の検討に入っているが、これに絡めて安定した正規雇用の整った企業誘致等の地域振興策があるのか。

回答・町長

地域振興策は手を抜かず、検討して行く

美浜1号機後継機に関連しての地域振興策ですけれども、これは後継機有無に関わらず重要な課題と考えております。こ

質問・③

れをやった地域振興が完了と言うものではないので毎年、社会情勢、経済状況、地域の要望等に応じて第四次総合振興計画に基づいた施策を講じていかないと地域振興は図れないと考えております。企業誘致は大変大きな課題ですが、定住対策あるいは町の振興計画と合わせ検討して行きますが地域性を活かした原子力産業関連があればと考えています。

小規模特別養護老人ホームの形態と、待機者について

高齢化の続く中、小規模特養老人ホームの建設の話も聞いていますが内容は。

回答・町長

第4期介護保険事業計画に基づき計画

小規模特養老人ホームは29人以下の地域密着型のサービスを提供する介護老人福祉施設です。詳細は担当課長から説明いたします。

回答・健康福祉課長

まず待機者の状況ですが平成22年6月現在で66人です。そのうち単身者でかつ介護人がおられない人が52人です。更にこの中で要介護度3以上の方が27人です。小規模特養老人ホームの形態は29人以下の介護老人福祉施設で、入所対象者は町民に限られております。個部屋を中心としたユニット型の施設です。現在第4期介護保険事業計画に基づいて平成23年度内に施設整備が出来るように準備を進めております。入居費用は、国民年金者の世帯でも入居が可能な施設となるよう事業者と相談していきたくと考えています。

質 問



兵 庫 賢 一 議員

質問・①

町政の諸事業が当初の目的を達してきたのか、見直す必要性は本当にないのか

「事業仕分け」の必要性について具体的にお聞きします。

①各種イベントの成果について一度見直すべきでは。

②新しい公共施設が出来た後の遊休施設の有効活用が図られているのか見直す必要は。

③温浴施設の土地の利用について、温泉の湧出量も温度も温泉に適しないと見直し現実を見極め温浴施設と言う計画を見直すべきでは。

④エネルギー環境体験施設について町に必要な施設なのか、見直しがあっても良いのでは。

回答・町長
仕分けと見直しは、はっきりと使いつけて実行する

町の事業は議会なり、委員会できちっと審議したものを上げてきておりますので国がやっているような外部の人に入ってきて仕分けするのはいかがなものかと申し上げました。当然イベント等は実

施後の反省会など専門家や議会、町民の意見をお聞きして、良い方向に見直しをするのはやぶさかではありません。事業仕分けと、見直しとははっきりと使い分けて参ります。次の新しい施設が出来た後の空き施設ですが、倉田議員の質問にお答えしておりますので割愛させていただきます。次の温浴施設の件ですがこの件は各種団体の代表の方からもいろいろの活性化施策を検討してみてもと言われておりますし、平成19年、議会の視察後も同じ様な事をご提案頂いておりますのでこれらを重視、参考にさせて頂いております。最終的には中途半端な資金や体制では取り組めない

ので活用する方向で取り組みます。最後のエネルギー環境体験施設ですが、元々もんじゅが建設された時からのいきさつがありまして国の交付金を伴うものですのでどこでもと云う訳には行かない事をご理解頂かなければなりません。当町はエネルギー環境教育に積極的に取り組み成果を上げております。そういった意味で全国の注目を浴びておりますし、平成19年度にはエネルギー教育特別奨励賞も頂いております。又、美浜中のエネルギー環境教室の設置等、電源立地地域としての特徴も持たせております。福井県のエネルギー拠点化計画の中に参加する意味でも美浜町はこれと言うものにする為、今後整備検討委員会を設置して基本計画を策定していきます。

質問・②

魅力ある町づくり計画について

町民が豊かさを感じる町政をどう考えているのか。たとえば町内の跡取りや次

男が家を建てるのを機に、隣の敦賀市に建てられる現実があるが、町としての魅力という点から、この現実をどう考えているか。現状の振興計画の延長では将来の夢が無く、見直しの必要性を感じる。宮崎県小さな村で地方活性化の目的でいくつかのプロジェクトを立ち上げ成功している事例が有るが、今後の「協働のまちづくり」をどう進めていくのか。

回答・町長

広く勉強して当町に合った振興策を進める

人口減少の全国的な傾向の中でいかに減少を食い止めるか。結婚対策、若者の定住対策、雇用対策、交通アクセス、公共交通の充実等幾つもの対策が挙げられます。今までやってきた事として交通アクセス

対策のバイパス設置、子供の保育環境の整備、医療、診療対策、少ないながらも工場誘致です。住宅政策に対しての優遇措置ですけれども土地の取得や建物に対する融資制度、補助制度、税的補助等いろいろ考えられます。十分議論して財源確保までつなぐ必要があるのではと考えます。

回答・生涯学習課長

各種イベントの取り組みについてですが、本関係は主に五木マラソン、町民レガッタ、全国中学校ポルト大会、町民文化祭です。いずれも開催前に実行委員会を立ち上げ前回の反省や町民の声を反映して内容を検討しております。五木マラソンについては前日の旅館民宿が満室の状態になる等の経済効果と美浜町のPRに役立っております。

回答・商工観光課長

本課のイベントは三方五湖春まつりから五木ひろしふる里コンサート、納涼花火大会等を実施しており美浜町のイメージアップ、誘客に成果を上げております。5月の福井テレビ主催のわんぱくフェアは県外からも多くの親子連れが参加し好評です。今後も内容を十分検討し充実して参ります。

回答・健康福祉課長

本課では「はあとびあまつり」を平成10年から実施しております。これは美浜町社会福祉協議会、美浜町健康づくり推進協議会など、本町の福祉や健康増進を目的とする団体を中心となつて実行委員会を立ち上げ内容の充実を図っております。

回答・農林水産課長

産業祭は農林漁業者、または団体が一堂に会して町民との理解促進を図っている場です。展示即売、品評会、地産地消の推進に役立っています。同時に相談窓口、小学生的の作業発表等も行い、今後も充実させていく予定です。

回答・企画政策課長

「協働のまちづくり」計画は基本計画を前年度作成、ご説明させて頂きました。今年度末までに行動計画を作成すべく広く意見を頂きながら協議を重ねております。まとまった時点で、その都度ご説明を致したいと考えております。

平成22年第3回 美浜・三方環境衛生組合 議会定例会

平成21年度美浜・三方環境衛生組合 一般会計歳入歳出決算の認定

組合施設については、各施設とも大きなトラブルもなく順調に運転を続けている。各施設では、当初の運転計画に基づき、随時点検整備を行いながら処理機能の維持に努め、住民生活に支障が生じないよう細心の注意を払っている。今年度より5年間の長期契約に移行しており、今後とも安定した運転管理が継続できるよう、委託会社の管理監督に取り組んでまいりたいと考えている。平成21年度の各施設における主な処理実績。

1. し尿処理場への搬入量は6,525キロリットルで、前年度比245キロリットル(3.6%)の減少となっており、生し尿と浄化槽汚泥の搬入比率は、前年度と同様に浄化槽汚泥の占める割合が多く69.2%となっている。
2. エコクル美方の各施設はガス化溶融施設への可燃ごみの総搬入量が5,553トンで、前年度比152トン(2.6%)の減少となっている。リサイクルプラザへの不燃・粗大ごみの総搬入量は838トンで、前年度比19トン(2.2%)の減少となり、施設からの資源化率は、前年度とほぼ同じ72%となっている。
3. 一般廃棄物最終処理場の搬入状況は、今年度搬入量が353トン、容積換算では518立方メートルで、21年度末での総埋立量が2,947立方メートル、施設の埋立計画容積11,800立方メートルに対しては25%の埋立実績となっている。
4. 堆肥化施設への原材料搬入量では、畜産糞が3,908トンで前年度比145トン(3.5%)の減少、生ごみが125トンで前年度比18トン(13.0%)の増加となっている。

今後とも、地域住民の皆様のご理解とご協力を頂きながら適正な廃棄物の処理、資源の有効活用に努めてまいりたい。議案第13号「平成21年度美浜・三方環境衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について」は、決算概要として歳入総額8億1,340万1千円、歳出総額8億681万4千円で、差引残額658万7千円につきましては、平成22年度へ繰越としたものであります。歳入では分担金及び負担金で7億5,987万4千円、使用料及び手数料で2,545万4千円、繰入金で1,000万円、繰越金で856万8千円、諸収入で950万5千円、議会費で28万1千円、業務費で2,939万4千円、環境衛生費で4億9,426万3千円、積立金で700万円、公債費で2億7,587万6千円となっている。



エコクル美方

敦賀美方消防組合議会報告

平成22年度第4回敦賀美方消防組合議会定例会が、去る12月24日に開催され、平成22年度敦賀美方消防組合一般会計補正予算案等7議案が審議・可決されました。

昨年一年を振り返りますと、全国各地で局地的な豪雨などにより多くの死傷者や、連日の猛暑による熱中症の被害が急増した年でありました。美浜町では春の局地的な強風による被害があり、被害に合われた方々には大変お気の毒な一年であった訳ですが、当消防組合管内全体としては、自然災害等による大きな被害はありませんでした。今後とも初動体制の整備に力を注ぎ、災害に強いまちづくりを目指して参りますので、町民の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



観閲式行進

管内火災は年間19件

12月20日現在の当消防組合管内における災害の発生状況です。火災件数は、19件で、昨年と同数です。(主な内訳、建物火災10件・車両火災4件・船舶火災1件・その他火災4件) 救急出動件数は、3129件で、昨年と比べ151件の増です。救急業務につきましては、高齢化に伴う救急要請が増加してきております。

救急車の正しい利用にご協力を

こうした中、救急隊員の技術の向上と併せて地域住民に対し、応急手当の普及を図るとともに、明らかに軽傷である場合や、タクシー代わりなど、安易な救急車の利用についての理解を求めため、住民の皆様方に正しい救急車の利用方法について、ご理解をお願いしているところであります。救助件数は、56件で、昨年と比べ1件の増です。(交通事故によるものが全体の半数以上)

消防施設等の整備としては、敦賀消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を更新配備し、敦賀市及び美浜町(郷市洪水山地区)に耐震性貯水槽を設置しました。

女性消防団員任用決定。ぜひご応募を

消防団活動の充実強化策につきましては、美浜消防団(早瀬地区)に小型動力ポンプ付積載車、三方消防団に小型動力ポンプ付積載車軽トラックタイプ3台を配置するとともに、消防団の教養訓練の徹底に努めております。

敦賀美方消防組合消防団の設置に関する条例の一部改正で、女性消防団員任用に伴う定員増の改正がありました。この件に関しましては、ちょうど一年前の定例会で同条例の一部改正があり、消防団員の規定の中で『成人の男子』とありましたところを『成人』に改正されました。これは男女協働参画社会の流れと、全国的には消防団員が不足気味の傾向にある為にとられている状況を踏まえて検討されてきた結果を受け改正されたわけでありました。其の時、当地方の現状と社会的諸情勢を考慮して、女性団員の任用に伴い、男性団員の定員が減らされることの無いように配慮すべしとの意見が出されておりましたが、今回の改正による定員増で、いよいよ女性団員が任用され活躍いただく具体的な方向の一步を踏み出したわけでありました。改正により、敦賀消防団におきましては、定員270人を10人増員して280人に、美浜、三方の各消防団におきましては、定員225人をそれぞれ8人増員して233人(総勢746名)になりました。現在720名の男性消防団員を有する消防力を低下させることなく、女性ならではのソフトできめ細かな火災予防、予防広報的な活動を充実させるため、定員増で新たに26名の女性消防団員の任用を図ったものであります。ここ近年美浜町でも、自衛消防隊操法大会での女性チームの活躍を拝見させて頂いておりますが、ぜひ美浜消防団へのご応募をお待ちしております。

議会の動き

12月	11月	10月
24日 敦賀美方消防組合議会	10日 福井県市町議会議員研修会	21日 東北電力女川発電所視察
22日 公立小浜病院組合議会	12日 敦賀・美浜地域開発協議会視察研修	23日 若狭地方町村議会議員交歓球技大会
21日 議会広報特別委員会	16日 立地議会サミット	
17日 美浜・三方環境衛生組合議会	17日 全国原子力発電所	
16日 総務文教常任委員会	22日 原子力発電所特別委員会	
15日 産業厚生常任委員会	26日 第7回町議会臨時会	
14日 一般質問	29日 美浜発電所1号機40年継続運転式典	
10日 第8回町議会定例会		
2日 議会運営委員会		
(本会議)		

産業厚生常任委員会視察研修

日時 平成22年10月12日・13日
場所 石川県羽咋市神子原地区・加賀市



●過疎化する山村集落神子原地区での地場産品のブランド化や活性化の現状 (石川県羽咋市)

羽咋市は、2007年神子原地区という中山間地域の地場産品のブランド化や定住促進、農業の1.5次産業化といった様々な取組により、山村集落活性化計画「山彦計画」を策定し、山村集落の活性化を目指している。

<山彦計画>

- 農産物の価格を市場にゆだねるのではなく、農家が作ったものを農家が値段をつけられる仕組みを作り、農業所得の向上により人口減少を食い止めようとするものである。(良質な米をブランド化し、米価をそれまでの3倍程に跳ね上げることに成功。)
- 農家自身が販売体制を構築し、出資を募って会社を設立・管理運営を行っている。
- 職員で選任1名と兼任1名の合計1.5名で、一般予算60万円でのスタート。
- 農家が疑似親「よばし親」として疑似の親子関係を結び、農家において都市住民の宿泊受入を可能にした
- 受入学生の協力で棚田に「巨大ひな壇」作りをし、イベントとして成功
- 農家と農地をセットで移住者に貸し出す「空き農家・農地情報バンク制度」を創設



●市民と共に生ゴミ利用に取り組む「バイオスタウン構想」 (石川県加賀市)

(注・バイオマスとは、動植物から生まれた再生可能な有機性資源のこと。)

- <廃棄物系バイオマス>生ゴミ、家畜排せつ物、下水汚泥
 - <未利用系バイオマス>剪定枝、林地残材、稲わら、もみ殻 などから
 - 家庭系廃食用油の回収(婦人が母体)は Etaノール化して、剪定枝はペレット化してバイオ燃料に!
 - 学校給食残さや家庭系生ゴミは堆肥化して、農地へ還元!(婦人会が中心で始めた)
- また、生ゴミ収集は婦人会が中心となり、リサイクル業者が移動式の車両で収集、堆肥化した後、それぞれの契約農家に配布している。一方、堆肥使用農家としては、市内のみならず市代・白山地区の農家が集まって(株)なつば会を作り(参加農家45軒だそうである)堆肥を消費、出来た農産物各種は、食品スーパー等14社、飲食チェーン等5社にて販売(約1.8億円)している。この取り組みの環は広がってはいるものの、まだ全体の2割という。

今回石川県羽咋市、加賀市の地区の取り組みを視察して「行政は活性化とは、まず書類や冊子を作ったり、シンポジウムを開いたりするが、正直印刷物をいくら作っても、会議や討論会を何回も聞いても、農村は何も変わらない。そうしたやり方では、理念に基づいて行動することが欠落している。」という指摘もあるように両市は、それぞれの施策の理念に基づいて常に行動してきたものだと思う。我が町も理念に基づいて町民が行動し、行政との協働のまちづくりをやらなければと思う。

編集後記

定例会会期半ばから雪が降りはじめましたが、提出された議案、すべて原案どおり可決いたしました。また、議員発議により「議会活性化特別委員会」を設置いたしました。

「議会活性化特別委員会」は福井県内8町中5町(嶺南ではわが町以外全て)が既に設置しているものです。今後は議員全員で試行錯誤しながらも、町民の皆さまに議会としての説明責任を果たせるよう努力したいと思えます。

兔のような大きな耳で町民の皆さまの声を聴き、躍動できる年となるよう、一生懸命取り組んでいきたいと思えますのでよろしくお願いたします。

